

## 第6章 船員労働マーケットの現状

### 第1節 世界における船員労働マーケットの現状

#### 1. 世界の船員数

全世界の船員数は、BIMCO（ボルチック国際海運協議会）及びISF（国際海運連盟）がレポートを公表しており、それによると、商船船員は、2000年現在、船舶職員が約40.4万人、部員が約82.3万人であるとされる（BIMCO / ISF2000 Man Power Update（2000年4月）による。）。このうち、船舶職員については、その約36%をOECD諸国\*が占めているが、近年、東・東南アジア諸国がその割合を伸ばし、約32%を占めるに至っている。他方、部員はその約40%が東・東南アジア諸国の船員で占められている。

\* BIMCO / ISFの集計では、OECD諸国とは日本、西欧諸国、トルコ、米、加、豪、NZの合計であり、OECD加盟国のうち、メキシコ、韓国及び旧東欧諸国は含まれていない。

図表2-6-1 世界の船員数

（単位：千人）

	職 員	部 員	合 計
OECD諸国	147	191	338
東・東南アジア諸国	128	332	460
東欧諸国・ロシア	62	107	169
南・西アジア諸国	32	104	136
アフリカ・中南米諸国	35	89	124
合計	404	823	1,227

BIMCO / ISF資料による。

また、ITF（国際運輸労働者連盟）によれば、傘下組合員の船員は1998年現在約65.0万人であり、その地域別構成はOECD加盟国が約32.6万人（約50%）、東・東南アジア諸国が約13.0万人（約20%）となっている。

図表2-6-2 I T F 傘下の船員数

（単位：千人）

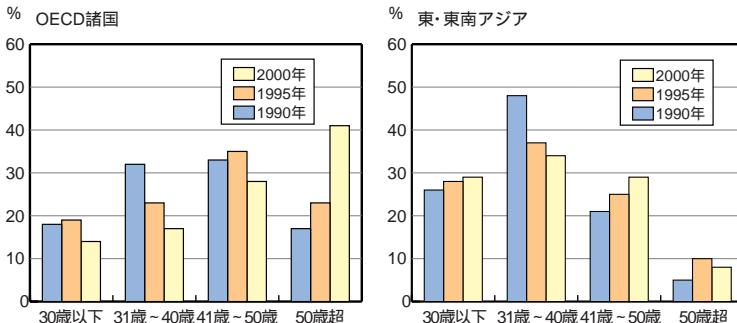
	船 員
OECD諸国	326
東・東南アジア諸国	130
東欧諸国・ロシア	106
南・西アジア諸国	47
アフリカ・中南米諸国	41
合計	650

ITF資料による。

## 2. 船舶職員の年齢構成

船舶職員の年齢構成については、BIMCO / ISFレポートによれば、OECD諸国では50歳超の者が40%を超え、40歳超でみると約69%を占めている。特に50歳超の者の占める割合が漸増しており、高齢化の傾向が著しい。他方、東・東南アジア諸国の船舶職員の年齢構成は、30歳以下、31歳～40歳、41歳～50歳の者がそれぞれ29%、34%、29%となっており、50歳超は8%にとどまっている。

図表2-6-3 船舶職員の年齢構成



BIMCO / ISF資料による。

なお、当該データは、主要船社へのサンプリング調査結果を加重平均したものである。

### 3. 船員の将来的需給予測

全世界の船員需要数は、BIMCO / ISF推計によれば、2000年現在、船舶職員が約42.0万人、部員が約59.9万人と推定されており、1. で前述した船員数と較べると、船舶職員については若干の不足が見られる一方、部員については供給過多の状態となっている。

さらに、2010年における船員数は、船舶職員が約39.7万人、部員が約85.8万人と推計されており、これに対し、船員需要は船舶数の伸びが1%という低いシナリオをとった場合においても、船舶職員が約44.3万人、部員が約60.3万人となるとされる。この結果、部員については引き続き供給過多にあるものの、船舶職員については、その不足の割合が現在よりも増大することが懸念されている。

また、欧州委員会によれば、EUでの船舶職員不足は2001年現在1.3万人であるが、2006年には3.6万人に増大することが予想され、需給は全世界的状況に比し、より悪化が顕著であると推計されている。加えて、EU船舶に乗船しているEU船員は、1985年には約20.6万人（うち、船舶職員約8.5万人）であったが、1995年には約12.9万人（うち、船舶職員約5.2万人）と約37%減少しているのに対し、非EU船員は約2.9万人から約3.3万人と約14%増加しており、最新のデータでは、EU船員が約12.1万人（1985年比40%減）、非EU船員が約3.5万人（同20%増）と、その傾向がさらに顕著なものとなっている。（以上、欧州委員会「船員の訓練と雇用に関するコミュニケーション」（2001年4月6日採択COM（2001）188final）による。）

これらの状況に加え、前記2. を勘案すると、特に船舶職員については、今後、世界的にみて東・東南アジア諸国の船員の重要性が増すことが予想される。

図表2-6-4 世界の船員需要バランス

	2000年			2010年		
	供給(千人)	需要(千人)	(千人)	供給(千人)	需要(千人)	(千人)
職員	404	420	16 [ 4%]	397	443	46 [ 12%]
部員	823	599	224 [+ 27%]	858	603	255 [+ 30%]
合計	1,227	1,019		1,255	1,046	

BIMCO / ISF資料による。  
 なお、当該データは過去10年間の実績を参考に、2000年に比し2010年の世界の商船隊の船舶数の増加を1%とした場合のシナリオである。

図表2-6-5 EU船舶乗船船員のEU・非EU別推移

(単位：千人)

	職 員		部 員		合 計	
	EU職員	非EU職員	EU職員	非EU職員	EU職員	非EU職員
1985	85	1	120	28	206	29
1990					158	28
1995	52	3	76	30	129	33
1998～99					121	35

EU資料による。

## 第2節 日本における船員労働マーケットの現状

### 1. 船員数等の状況

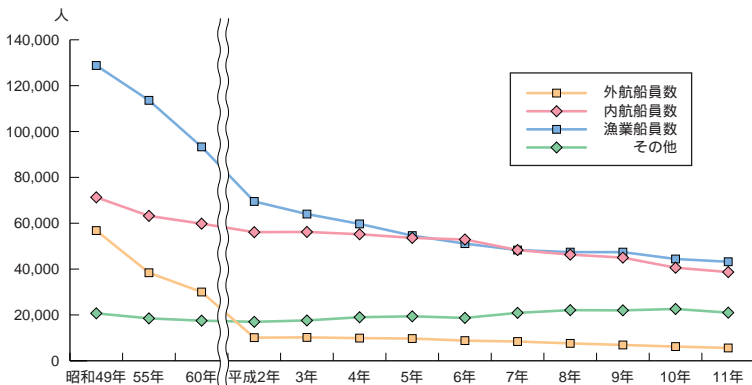
我が国の船員数（予備員含む。）は、ピーク時の昭和49年には約27.8万人であったが、外航船員、内航船員、漁船員とともに減少傾向が続き、平成11年10月には約10.8万人となっている。特に、外航海運における国際競争の激化や国際的な漁業規制の強化による漁船の減船等により、外航船員数及び漁業船員数の減少が著しい。

また、船員の年齢構成をみると、45歳以上の中高齢者が50.2%と対前年比0.5ポイントの増加となる等高齢化の傾向が続いている。

図表2-6-6 我が国の船員数の推移

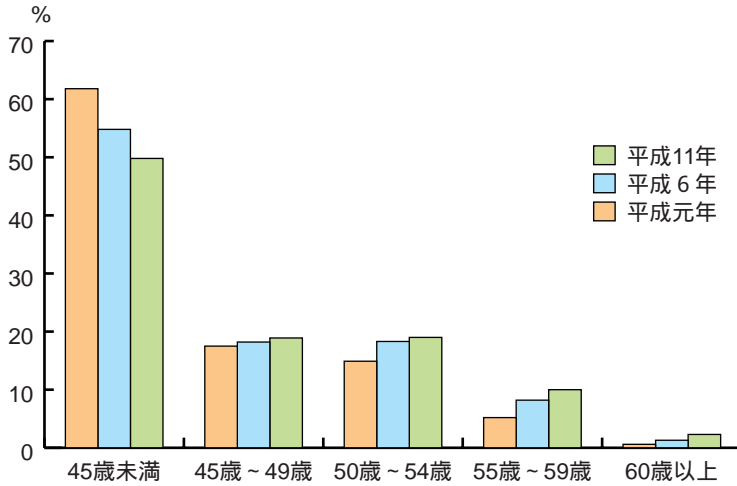
（単位：人）

	昭和49年	55年	60年	平成2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年
外航船員数	56,833	38,425	30,013	10,084	10,185	9,933	9,744	8,781	8,438	7,611	6,862	6,219	5,573
内航船員数	71,269	63,208	59,834	56,100	56,202	55,202	53,626	52,906	48,337	46,288	44,959	40,637	38,722
漁船船員数	128,831	113,630	93,278	69,486	63,954	59,688	54,596	51,073	48,318	47,401	47,394	44,388	43,173
その他	20,711	18,507	17,542	16,973	17,601	18,964	19,420	18,657	20,942	22,130	22,021	22,645	20,972
合計	277,644	233,770	200,667	152,643	147,942	143,787	137,386	131,417	126,035	123,430	121,236	113,889	108,440



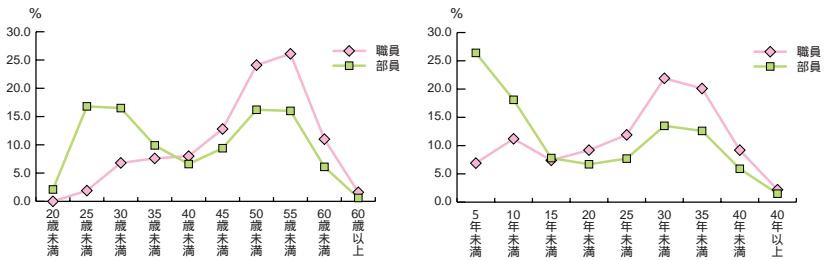
船員統計及び船員需給総合調査結果報告書による。  
船員数は乗組員数と予備員数を合計したものであり、我が国の船舶所有者に雇用されている船員である。  
その他は引船、はしけ、官公署船に乗り組む船員数である。

図表2-6-7 年齢別船員数の推移



船員統計による。

図表2-6-8 年齢別・経歴別船員数



船員需給総合調査結果報告書による。

## 2. 船員の需給動向

平成12年の船員の労働需給をみると、有効求人数は8,926人と対前年比680人（8.0%）の増加、有効求職数は51,073人と前年比6,338人（11.0%）の減少となった。このため、有効求人倍率は0.17倍と前年比0.03ポイント微増したものの、現在の船員を取り巻く雇用情勢は引き続き厳しい状況である。

図表2-6-9 採用経路状況（平成10年10月1日～11年9月30日）

（単位：人）

採用退職状況	職種	職員					部員				職・部合計					
		甲板	機関	無線	その他	計	甲板	機関	その他	計	甲板	機関	無線	その他	計	
入職	船員経験者	490	405	149	8	1,052	1,525	479	130	2,134	2,015	884	149	138	3,186	
	船員未経験者	新卒卒業者	49	35	0	7	91	87	37	113	237	136	72	0	120	328
		その他	1	0	0	4	5	65	16	52	133	66	16	0	56	138
	計	540	440	149	19	1,148	1,677	532	295	2,504	2,217	972	149	314	3,652	
	学校紹介	39	35	0	7	81	77	32	112	221	116	67	0	119	302	
	船員職業安定所	47	67	12	0	126	74	30	16	120	121	97	12	16	246	
	縁故	153	119	51	3	326	361	172	48	581	514	291	51	51	907	
	広告・放送等	0	0	0	4	4	2	3	27	32	2	3	0	31	36	
	直接紹介	108	83	35	5	231	206	77	25	308	314	160	35	30	539	
	経路	他社からの派遣	21	21	8	0	50	188	24	25	237	209	45	8	25	287
その他	172	115	43	0	330	769	194	42	1,005	941	309	43	42	1,335		
計	540	440	149	19	1,148	1,677	532	295	2,504	2,217	972	149	314	3,652		
内部昇進	28	23	0	3	54	0	0	0	0	28	23	0	3	54		
就職前歴	外航船員	23	22	7	0	52	24	8	11	43	47	30	7	11	95	
	内航船員	76	81	2	0	159	79	24	22	125	155	105	2	22	284	
	漁船船員	389	299	140	8	836	1,322	422	95	1,839	1,711	721	140	103	2,675	
	その他の船員	2	3	0	0	5	100	25	2	127	102	28	0	2	132	
計	490	405	149	8	1,052	1,525	479	130	2,134	2,015	884	149	138	3,186		

船員需給総合調査結果報告書による。